

2022年5月9日  
日本船主協会 海務部

## ジブチ共和国での自衛隊拠点開設 10周年記念式典への参加について

ソマリア沖・アデン湾において海賊対策に従事する自衛隊・海上保安庁の活動を支援する拠点が2011年6月1日にジブチ共和国に設置されてから、2021年で10年を迎えました。

生憎のコロナウィルス感染症のまん延で同拠点開設10周年記念式典が延期されていましたが、2022年5月5日に執り行われ、当協会を代表し、友田副会長が参加いたしました。

当式典には中曽根康隆防衛大臣政務官および大塚海夫ジブチ共和国駐劬特命全権大使をはじめジブチ共和国の閣僚が、また、同国駐在の各国司令官らが参列し、これを慶賀しました。

今回の式典参加に併せ、友田副会長は、海賊対処行動に派遣されている護衛艦「さみだれ」、航空隊・支援隊の拠点を訪問し、猛暑・砂塵の過酷な環境に加え、コロナウィルス感染症対策上のさまざまな制約がある中で、日夜海賊対処行動に従事され、日本関係船乗組員の安全航海を支えていただいている自衛隊員・海上保安官の皆様へ感謝の気持ちを直接、伝えてまいりました。

併せて、隊員・保安官への感謝の想いを形として現そうという池田会長の提案に基づき、当協会にて作成した拠点開設10周年を記念するデザインのカップ麺とクリアファイルを贈呈いたしました。

また、在ジブチ共和国日本国大使館も設立10周年となることから、友田副会長が大使館を表敬し、大塚大使に記念品を贈呈の上、我が国商船隊の当該海域における安全な海上輸送の確保に向けた海賊対処行動や関係諸国への働きかけ等の政府の取組みに対し、感謝の意を伝えました。

当協会からは例年ジブチへの訪問団を派遣してまいりましたところ感染症の世界的な蔓延により2019年を最後に中断を余儀なくされておりましたが、より多くの隊員・保安官の皆様へ感謝の意を伝えられるよう、わが国の外航海運関係者による同地訪問を早期に再開できることを願っております。



拠点開設 10 周年記念式典  
左から友田副会長、大塚大使、中曽根政務官



記念品目録と記念品の拡大図柄を手に  
左から西宮航空隊司令、友田副会長、桑原拠点司令



護衛艦「さみだれ」甲板上にて  
左から 田村艦長、高橋司令、塚原捜査隊長、  
友田副会長、桑原拠点司令



大使館開設 10 周年記念品を手に  
左から大塚特命全権大使、友田副会長



駐機する P-3C 哨戒機を前に



拠点内に掲示される記念品図柄とメッセージ  
左から友田副会長、桑原拠点司令



贈呈したクリアファイルとカップ麺